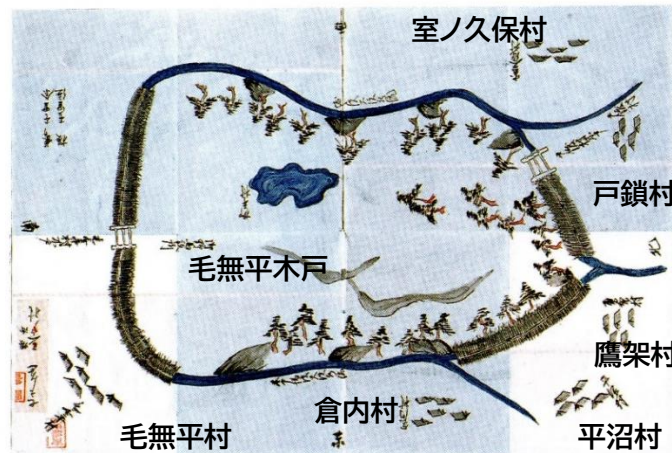


六ヶ所村の中世・近世の時代(蟻渡野牧)

| 13世紀 | 14世紀 | 15世紀 | 16世紀 | 17世紀 | 18世紀 | 19世紀 |
|--|------|------|---|------------------|------|---|
| 室町幕府の時代 1336年～1573年 | | | 安土桃山時代 | 江戸時代 1603年～1868年 | | |
| 1333年 鎌倉幕府の滅亡 1392年南北朝合体 1336年 室町幕府成立 | | | 1573年 室町幕府解散 1456年 蠣崎藏人の乱(音波城が泊の目代館か?) 16世紀初頭 南部氏津軽一円支配 | | | 1590年 津軽為信独立 1603年江戸幕府成立 1868年 王政復古・明治政府樹立 |
| 1213年 尾駈の牧が再興され、 蟻渡野牧 と改められる。(糠部北門) | | | 1217年 青森県全域が北条氏の得宗領となる 1380年代七戸正慶氏～1591年九戸の乱にて七戸家断絶 | | | 1634年 糠部から北郡・三戸郡・二戸郡・九戸郡に 1672年 倉内の兵蔵が有戸の御野守別当となる 1830年 兵蔵の子孫が帯刀と木村姓を許される |
| ※有戸野、有度野、蟻渡野などの表記がある。 | | | | | | |



南部領元禄国絵図控 1701年



南部九牧之図より七戸通蟻渡野ノ図

出戸村の主人の言として、「昔尾駈の牧にいた駒が、適地を求めて移動し、尾駈と室ノ久保の間の相の野に移ったが、便宜がよくないので、野辺地に近い有度が牧になった。今は、倉内の野に放牧されるようになったが、有度野と呼んでいる。」という文が、菅江真澄の紀行文「おぶちの牧」1793年に記載されている。江戸時代は、南部九牧の一つとして、馬産が行われ、広さは「長1里半横1里余」。野守は倉内村の木村家が行っていた。

※両絵図ともに 盛岡中央公民館蔵 県史近世4 史料編より引用